

お客様の安心と信頼を作るホームページとは何か

北島仏壇(美川)のHPコンテンツを見る

伝統的工芸品としての仏壇を販売する地域の小売店の多くは、伝統的工芸品の外への仏壇を暖味なまま販売する。その暖味さは、お客様に言いたくないことに他ならない。

伝統的工芸品仏壇を前面に打ち出しながら、販売する仏壇は国内他産地や海外仏壇であったりすることは珍しくないが、それは仏壇店自身が「仏壇は地元で作られた工芸品である」というルールに束縛されているからだ。そうしたことが実は仏壇業界を分りにくいものとさせ、仏壇離れではなく、仏壇店離れを引き起こしている。

北島仏壇(白山市)が開設したHPは、仏壇店が言いたくない部分を語り、お客様の信頼を作り

上げるといって、注目すべき内容になっている。

北島仏壇がHPでお客様に説明するのは美川仏壇。石川県美川町(現白山市美川町)で製造される仏壇が美川仏壇。石川

県伝統工芸品として指定を受け、今年地域ブランド(地域団体商標)の登録を受けた。美川仏壇としての内容には厳格な規定があり、北島仏壇のHPはそのことを伝える。

例えば本店内客だが、クサマキ・ヒメコマツ、イチヨウなどが使われることが写真と共に解説される。本地職人の紹介と同時に、「本地見せ」が行われることも明記される。さらに、材料の仕入れから製材、乾燥、そし

て本地造りに至る過程が熱く語られる。そこに流れるのは「木の文化」に対する敬意でもある。実は国指定の伝統的工芸品といえども本地に關して語ることは、少し難しいことになっていく。それは化粧合板を使うことを認めているからだ。合板は反らない、塗りやせをしない、幅広い面を安

価にとれるなどの理由から仏壇製造に欠かすことの出来ない素材となっているが、仮にそれが伝統的工芸品であれば、お客様には説明しにくくなる。それは合板が天然のものではなく工業製品だからだ。

北島仏壇が製造する美川仏壇は合板を使用しない。そのことが美川仏壇のこだわりと誇りになっ

ている。

本地でも見ることができたように職人を前面に打ち出すのも北島仏壇HPの特徴だ。職人が作るということが品質の保証となるという姿勢がお客様に「北島仏壇製作所三十七人衆」というページも作り、北島仏壇を支える職人を紹介する。

伝統工芸を守る、ということがあるが、結局伝統工芸を守るためには、職

人の顔が見える販売をし、適正価格で販売し、伝統工芸でない製品を伝統工芸ではない製品として売るといふシンプルなた姿勢こそが最も大切ということだ。しかし、このシンプルなた姿勢を大半の仏壇店が取ることができない。

北島仏壇のHPでは工程別材料費用明細開示として、木地、漆、金箔、蒔絵、金具、箔彫、木地彫・呂色・漆芸・組立

に関しての費用が公開されているが、これもまた異色の取り組みであると言える。

仏壇店の原点としての姿勢を感じさせるHPである。



北島仏壇のホームページ <http://www.kitajima-butsuden.jp/>

お客様に本物のとは何かを伝える構成内容

北島仏壇では取扱店も募集している

製品内容・価格体系の明確な仏壇だけに魅力十分



製品価格内容を開示するページ

本地へのこだわりを表現する